

子育てのワンポイント

～排泄の自立～

「そろそろトイレトレーニングを始めようと思うのですが、どうやって始めたらいいのですか？」など、排泄の自立に向けて行きたいとの相談もたくさんあります。

オムツのぬれる間隔があき、一度にたくさんの量が出るようになったら、オマルに慣れていくことから進めていくのが望ましいと思います。まずはお母さんがお子さんの排尿間隔をつかみましょう。その間隔を目安にトイレに誘ってみます。

保育園では生活の節目（例えば、散歩の前後、食事の前、お昼寝の前後など）で声をかけてトイレに誘っていきます。そこで排泄の感覚を学び、上手になってきたら大人に促されるのではなく、自分で行きたい時にトイレに行くことを意識していくようになります。

ぎりぎりまで我慢して失敗することもあると思います。そんな時は叱らないことです。大人が未然に防いでしまうのではなく、失敗してもいいから自分で意識して行けるように見守ってあげると、子どもは自分でできるようになっていきます。

トイレの成長は、心の成長。行きつ戻りつしながら、あせらず、ゆっくりのんびり進んでいっても大丈夫です。

トイレトレーニングの完了を迎えるころ、子どもたちは心身ともにちょっぴり大人に成長していると思います。



今月の絵本

*くっついた

三浦太郎 著 こぐま社

*さつまのおいも

中川ひろたか著 童心社



今月のうた

*どんぐりころころ

どんぐりころころ どんぶりこ
お池にはまって さあ大変
どじょうがでてきてこんにちは
ぼっちゃん一緒に
遊びましょう。

どんぐりころころ よろこんで
しばらく一緒に 遊んだが
やっぱりお山が 恋しいと
泣いてはどじょうを困らせた。

今月のわらべうた

*どんぐりころちゃん
どんぐり ころちゃん
頭は とんがって
おしりはぺっちゃんこ
どんぐりはしくりしょ



11月の予定

1日（金）お芋パーティ

15日（金）子育て学習会
（冬の過ごし方）

22日（金）園庭開放

29日（金）誕生会

